

調布市における これからのみちづくり

— 調布市道路網計画 —



平成 28 年 3 月 調布市

はじめに

都市計画道路は、多様な機能を有する最も基幹的な都市施設として、都市計画法に基づき計画決定された道路です。都市計画道路の機能は、市民生活を支える重要な都市基盤として、都市の骨格の形成、円滑な移動の確保、都市環境や都市防災、ライフラインの収容といった都市空間の形成等、多岐にわたります。調布市の大部分の都市計画道路は、昭和37年に計画決定しており、計画的に整備を進めています。

生活道路は、都市計画道路などの幹線道路と地区の地先道路（建築敷地が接する前面道路）の中間に位置し、地区の施設を連絡し、通勤・通学や買い物などで移動する際に利用する日常生活に密接な関わりをもつ道路です。歩行者などの交通を重視し、安全性の確保のほか、防災性、快適性、コミュニティ機能の向上などに寄与します。調布市では、昭和61年に「調布市生活道路網整備計画」を策定し、整備を進めています。

これらの道路が計画されて以降、長期間が経過する中で、人口減少や本格的な超高齢社会の到来、大規模な地震をきっかけとした防災意識の高まりなど、社会経済状況が大きく変化しています。また、平成24年8月に京王線の地下化の実現、東京外かく環状道路（関越～東名）（以下「外環」という。）の事業化及び周辺基盤整備の進捗など、調布市を取り巻く交通環境が大きく変化しています。

このような状況を踏まえ、調布市では、都市計画マスタープランの将来都市像として掲げる「住み続けたい 緑に囲まれるまち 調布」の実現に向けて、現在の都市計画道路と生活道路の計画を一体的に見直し、調布市を取り巻く状況等に対応した『調布市道路網計画』（以下「道路網計画」という。）を策定することとしました。

道路網計画の策定に当たっては、検討の各段階から、市民の皆さんと意見交換を行うため、職員が対面式で、ご意見を直接聴く「みちの井戸端会議」や無作為に選んだ市民の方をお願いする「道路に関するアンケート」など、複数の手法で市民参加を実施してきました。これまで「みちの井戸端会議」や「道路に関するアンケート」、「調布市道路網計画（案）に関する説明会」並びにパブリック・コメントにご参加・ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

このたび策定した道路網計画は、目指すべき道路網や優先的に整備すべき路線等を取りまとめた計画としております。引き続き、目指すべき道路網の実現に向けて、取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

目次

はじめに

1 道路網計画策定の目的と位置付け	1
(1) 策定の目的	
(2) 道路網計画の位置付け	
2 現状と課題	3
(1) 都市計画道路の整備状況	
(2) 生活道路の整備状況	
(3) 調布市を取り巻く状況	
3 これからのみちづくり	7
(1) みちづくりの基本理念と進め方	
(2) 道路網計画の構成	
(3) 道路網計画の検討対象路線	
(4) 広域道路網と地区内道路網に期待される機能と役割	
4 道路網計画の目標	10
5 目指すべき道路網	12
(1) 検討の方法	
(2) 道路網構築の視点	
(3) 必要性が確認されなかった路線	
(4) 地区内道路網における幅員の考え方	
(5) 目指すべき広域道路網	
(6) 目指すべき地区内道路網	
6 道路整備プログラム	22
(1) 検討の方法	
(2) 広域道路整備プログラム検討の視点	
(3) 広域道路整備プログラム	
(4) 地区内道路整備プログラム検討の視点	
(5) 地区内道路整備プログラム	
7 目指すべき道路網の実現に向けて	30
(1) 道路網計画で位置付けた各路線の検討の進め方	
(2) 定期更新の仕組み	
(3) 今後の課題	